

新発田ロータリークラブによるこども食堂支援

新発田ロータリークラブ

2019～2020 年度社会奉仕委員会委員長 田上正幸

新発田ロータリークラブでは、2016～2017 年度（高澤大介会長）から毎年
度「フードバンクしばた」（代表は当クラブ会員佐藤哲也氏）に寄付を行うと
ともに、「フードバンクしばた」の 4 つの事業のうちの要素である「こども食
堂事業」と「フードバンク事業」のへの支援を行っています。

こども食堂は、ほぼ毎週土日の昼食時に市内の長徳寺（土曜日）と個人宅
(日曜日) で開催され無料です。25 名～30 名程の子どもとそのお母さまが来
られます。（夏休み中は開催される日数が増加します。）当クラブでは、12 月の
クリスマスから始まり節分・ひな祭り・こどもの日の 4×2 回それぞれクリス
マスケーキ・恵方巻などを菓子製造や割烹に携わる会員の協力を得て提供させ
ていただいています。昨年 12 月 21 日（土）22 日（日）にはそれぞれ 9 号の
クリスマスケーキを提供させていただき、新潟日報・テレビ新潟の取材もあり
23 日の新潟日報で紹介されました。フードバンク事業である大晦日のお節料理
の提供については、割烹にて「フードバンクしばた」の方に贈呈し、その方が
一人で戸別に配達する方法をとっています。（正午頃から 19 時頃までかかると
のことです。）

2016年に初めてこども食堂への支援について聞いた時、「子ども達の健全な成長・能力の伸長が貧困が理由で妨げられるとすれば非常に残念で日本にとつても損失だ。こども食堂への支援はその改善につながるから大切なことだ。」と思ったのを覚えています。しかし現実としては、そんな将来のことより、今普通に食事をして栄養を摂取することができない子ども達がいる。学校給食のない土曜日・日曜日にもちゃんとした食事を提供する。それがこども食堂の第一の目的だ、と感じています。また、もう一つの意義としては、多くの子ども達やお母さま達が、にぎやかにその時間を楽しみながら食事をとれるということもあると思います。

「フードバンクしばた」の事業としては、フードバンク事業・就学支援事業・こども食堂事業・制服リサイクル事業の4つがあります。私たち新発田ロータリークラブの寄付・支援は、そのほんの一部に対してでしかありません。多くの市民の様々な支援で成り立つ「フードバンクしばた」の活動が、今は困窮する子ども達の明るい未来につながることを願い信じています。



